

注意報

令和 7 年 8 月 22 日
奈良県病害虫防除所長

令和 7 年度病害虫発生予察注意報第 3 号

病害虫名：斑点米カメムシ類

作物名：水稻

対象地域：平坦地域 発生時期：平年並 発生量：多い

1. 注意報発表の根拠

- (1) 8 月中下旬に実施した巡回調査では、捕虫網 20 回すくい取りによる水田の発生は場率は 40.0% (平年 26.0%) と平年より多い発生です。平均捕獲頭数は 1.0 頭 (平年 1.1 頭) と平年並みですが、防除の目安となる「3 頭/20 回すくい取り」を超えた地点が 16% ありました。
- (2) 捕獲された斑点米カメムシ類の中では、ホソハリカメムシ (写真 1) とアカスジカスミカメ (写真 2) が多く、主要な発生種となっています。
- (3) 桜井市に設置した予察灯の調査では、斑点米カメムシ類の 8 月 3 半旬までの誘殺数は、211 頭 (平年 104 頭) と平年を上回っています。
- (4) 近畿地方の 1 か月予報 (大阪管区気象台 8 月 21 日発表) によると、向こう 1 か月の気温は平年より高い見込みであり、斑点米カメムシ類の発生に好適な条件となります。

2. 防除上の注意事項

- (1) 1 回目の防除は出穂期から穂揃期に行います。防除後は穂をよく観察し、発生量が多い場合は、その 7~10 日後に 2 回目の防除を行います。
- (2) 出穂以降の水田周辺除草は、本田への飛来を助長するため控えます。
- (3) 防除薬剤の選定は別表を参考にしてください。薬剤を使用する際は、製剤ラベルに記載された内容を必ず確認し、使用方法を遵守してください。



写真 1 : ホソハリカメムシ



写真 2 : アカスジカスミカメ

表. 斑点米カメムシ類の主な防除薬剤

薬剤名	収穫前 使用日数	使用回数	希釈倍率・使用量	備考
トレボン乳剤	14日	3回以内	2000倍	
トレボンEW			1000倍	
トレボンエアー			8倍 (0.8L/10a)	無人航空機による散布
スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	7日	3回以内	2000倍	
スタークル/アルバリン粒剤	7日		3kg/10a	
スタークル豆つぶ	7日		250g/10a	
ダントツ水溶剤	7日	3回以内	4000倍	
エクシードフロアブル	7日	3回以内	2000倍	
			16倍 (0.8L/10a)	無人航空機による散布
キラップフロアブル	14日	2回以内	1000～2000倍	
			8～16倍 (0.8L/10a)	無人航空機による散布

上記は令和7年8月21日現在の登録内容です。

お問い合わせは

奈良県病虫害防除所

TEL. 0744-47-4481

その他関連情報は以下をご覧ください

病虫害防除所/奈良県公式ホームページ

<http://www.pref.nara.jp/1557.htm>

奈良県農業情報システム（農作物病虫害・雑草防除指導指針）

<http://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/nara>